

2008年1月25日

県森林づくり県民税

報告書

(2007年12月4日～2008年1月15日調査)

| | | |
|-----|-------|---|
| I | 調査の設計 | 1 |
| II | 結果の概要 | 4 |
| III | 単純集計 | 8 |
| IV | 調査票 | 9 |



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

◆ 調査の目的

村井知事は昨年12月、定例県議会に里山整備を中心とする「県森林づくり県民税」（森林税）の創設を提案して賛成多数で可決され、ことし4月からの導入が決まった。

県下では、集落に近い里山で間伐が放置され、土砂災害の恐れが強まっており、集中的な整備が緊急課題になっていると指摘されている。しかし、森林税そのものについて、県民にその必要性が周知されているのかどうか、公費投入により実効があるのかどうか、問題点が示された。

森林税導入の背景には、田中康夫前知事が打ち出した「脱ダム方針」の代替策のひとつに、森林整備が提起され、この数年来県民の間で論議が続いており、村井県政による浅川「穴あきダム」建設決定に至った経過がある。

長野県世論調査協会は、県議会で審議が行われた昨年12月初旬～今年1月下旬、新税創設に伴う疑問点や、ダム問題と森林育成、治山治水の関連などについて「県森林づくり県民税の導入」をテーマとする県民世論調査を実施し、県民の要望や期待を探った。

◆ 調査の設計

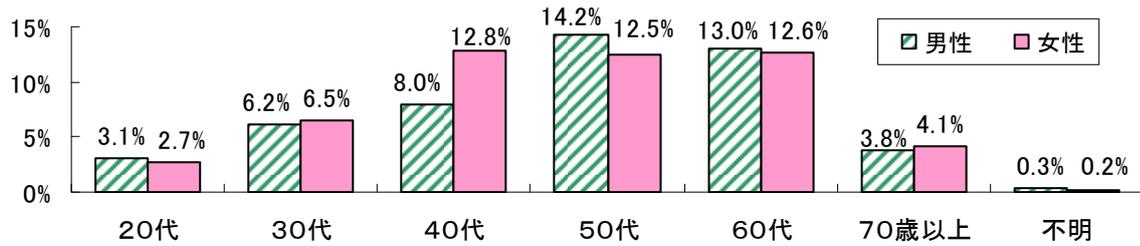
| | |
|-------|---|
| ▽調査対象 | 県内に住む20歳以上の男女1000人 |
| ▽抽出方法 | 層化三段無作為抽出法。県下“有権者の縮図”となるように、東北中南の4地域に分け、一定のルールで選定した市町村の選挙人名簿をもとに抽出した。 |
| ▽調査地点 | 19市 15町 14村 |
| ▽調査方法 | 郵送（回収は一部ファクス・インターネット） |
| ▽調査時期 | 2007年12月4日～2008年1月15日 |
| ▽有効回答 | 585人（男性 284人 女性301人） 回収率58.5% |
| ▽回収内訳 | 郵送 538人（92.0%） ファクス 33人（5.6%） ネット 14人（2.4%） |

<注>報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

◆ 回収サンプルの内訳

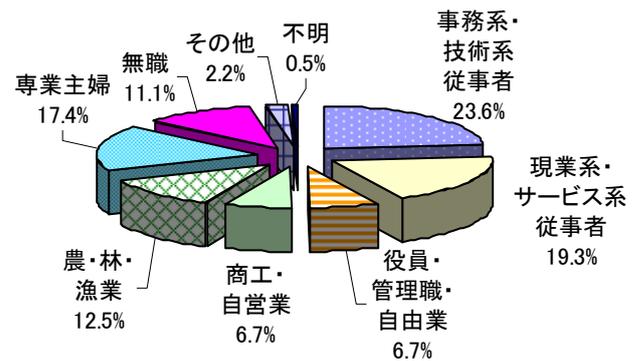
【性別と年代】

| | 合計 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70歳以上 | 不明 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 合計 | 585 | 34 | 74 | 122 | 156 | 150 | 46 | 3 |
| | 100.0% | 5.8% | 12.6% | 20.9% | 26.7% | 25.6% | 7.9% | 0.5% |
| 男性 | 284 | 18 | 36 | 47 | 83 | 76 | 22 | 2 |
| | 48.5% | 3.1% | 6.2% | 8.0% | 14.2% | 13.0% | 3.8% | 0.3% |
| 女性 | 301 | 16 | 38 | 75 | 73 | 74 | 24 | 1 |
| | 51.5% | 2.7% | 6.5% | 12.8% | 12.5% | 12.6% | 4.1% | 0.2% |



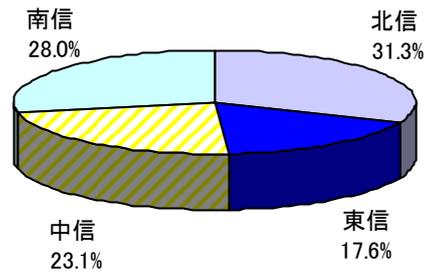
【職業】

| | | |
|--------------|-----|-------|
| 事務系・技術系従事者 | 138 | 23.6% |
| 現業系・サービス系従事者 | 113 | 19.3% |
| 役員・管理職・自由業 | 39 | 6.7% |
| 商工・自営業 | 39 | 6.7% |
| 農・林・漁業 | 73 | 12.5% |
| 専業主婦 | 102 | 17.4% |
| 無職 | 65 | 11.1% |
| その他 | 13 | 2.2% |
| 不明 | 3 | 0.5% |



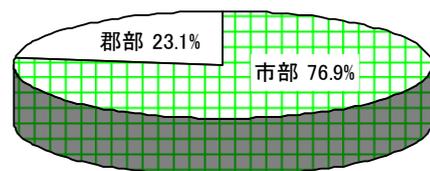
【地域】

| | | |
|----|-----|-------|
| 北信 | 183 | 31.3% |
| 東信 | 103 | 17.6% |
| 中信 | 135 | 23.1% |
| 南信 | 164 | 28.0% |



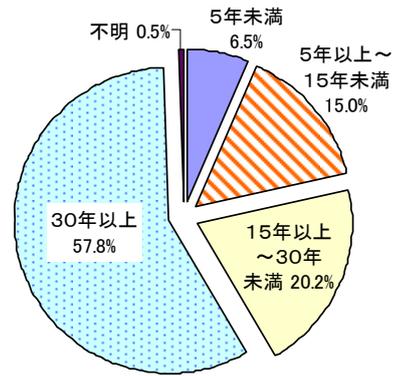
【市郡】

| | | |
|----|-----|-------|
| 市部 | 450 | 76.9% |
| 郡部 | 135 | 23.1% |



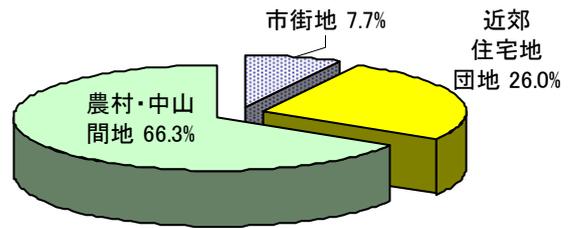
【居住年数】

| | | |
|-------------|-----|-------|
| 5年未満 | 38 | 6.5% |
| 5年以上～15年未満 | 88 | 15.0% |
| 15年以上～30年未満 | 118 | 20.2% |
| 30年以上 | 338 | 57.8% |
| 不明 | 3 | 0.5% |



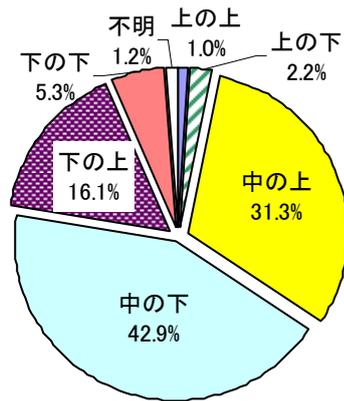
【地域性】

| | | |
|----------|-----|-------|
| 市街地 | 45 | 7.7% |
| 近郊住宅地・団地 | 152 | 26.0% |
| 農村・中山間地 | 388 | 66.3% |



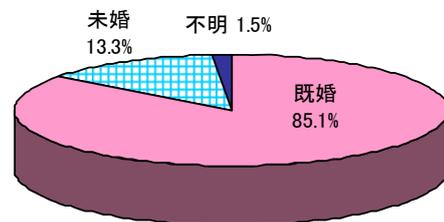
【暮らし向き】

| | | |
|-----|-----|-------|
| 上の上 | 6 | 1.0% |
| 上の下 | 13 | 2.2% |
| 中の上 | 183 | 31.3% |
| 中の下 | 251 | 42.9% |
| 下の上 | 94 | 16.1% |
| 下の下 | 31 | 5.3% |
| 不明 | 7 | 1.2% |



【結婚】

| | | |
|----|-----|-------|
| 既婚 | 498 | 85.1% |
| 未婚 | 78 | 13.3% |
| 不明 | 9 | 1.5% |



II 結果の概要

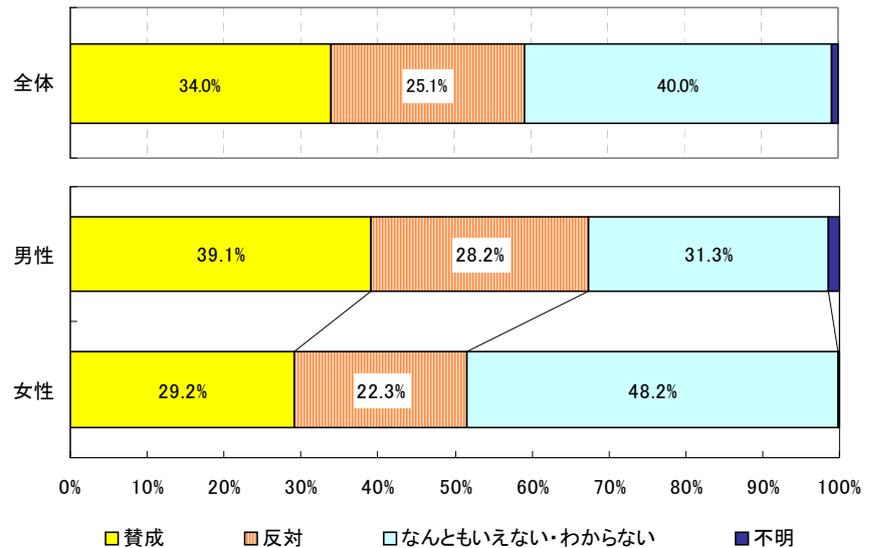
森林税の受けとめと水資源

県税の創設 「賛成」 34% 「反対」 25% 「わからない」 40%

「県森林づくり県民税」（以下「森林税」と略記）に関する今回の世論調査は、昨年12月初旬～今年1月中旬に実施され、県議会での審議から可決に至る期間にまたがる。新税の導入に「賛成」が34%で「反対」の25%を9ポイント上回った。その一方で「なんともいえない・わからない」が40%と最も多数を占めた。

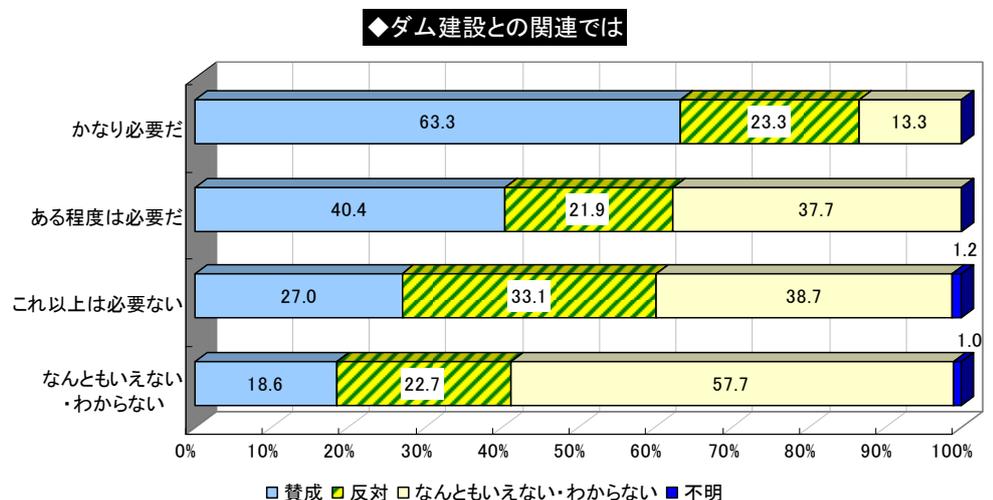
男性の「賛成」が39%と高めで女性よりも10ポイント上回り、年代層では20代で半数にのぼり最高。70歳以上（同「70代」）でも46%の高さを示す。その半面で40、30代では30%を割り込んだ。

回答者の60%近くを占める居住年数30年以上の層で「賛成」が平均値を上回り、5年未満の層では半数を占め最も高い。地域的には農村・中山間地（同「農村部」）と市街地で35%を超えるのに対して、近郊住宅地・団地（同「住宅地」）で低めというコントラストがみられる。



◆今後のダム建設「かなり必要」層が賛成63% 「不要」の層は27%

今後のダム建設が「かなり必要だ」と考える層は、森林税の導入に「賛成」が63%の高率を示すが「ある程度必要」は40%、「これ以上は必要ない」とする層では27%にとどまり、受けとめの違いが鮮明になっている。



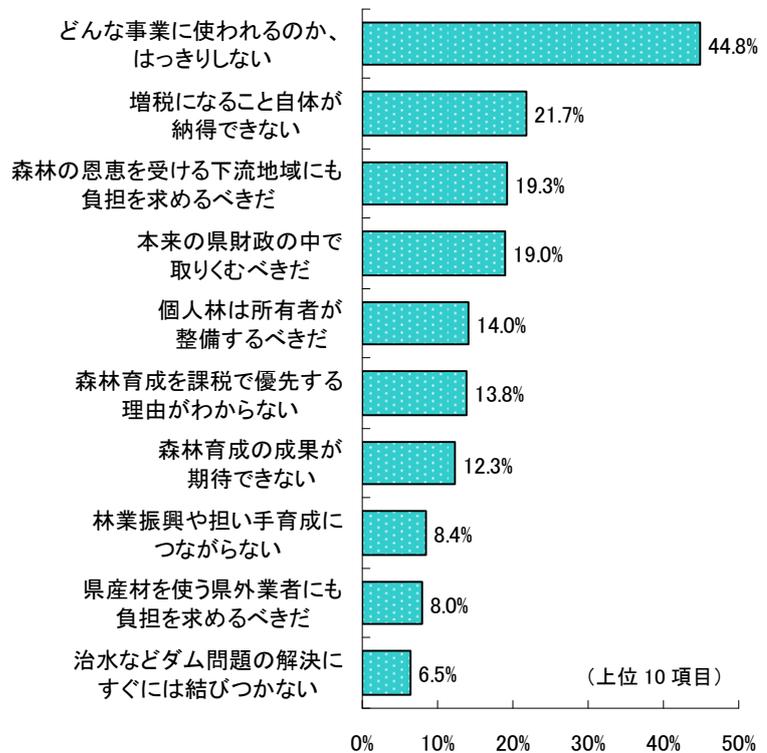
森林税への要望・疑問

筆頭に「使途わからず」 続く「増税に納得できず」

森林税に賛成、反対にかかわらず、導入に際しての要望や疑問を質すと「どんな事業に使われるのか、はっきりしない」が飛び抜けて多く45%。

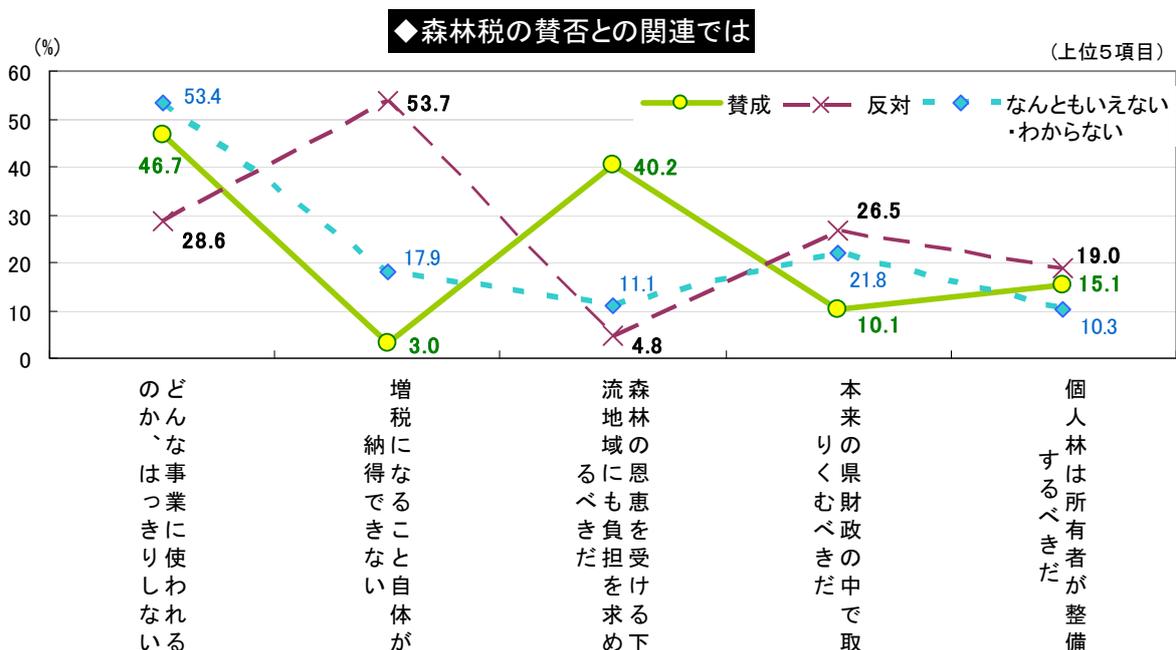
2番目には「増税になること自体が納得できない」が挙げられ「森林の恩恵を受ける下流地域にも負担を求めるべきだ」と「本来の県財政の中で取り組むべきだ」がほぼ同率で続く。

総じて税の使途や負担に対する注文が上位に並んだが「森林育成の成果」や「林業振興や担い手育成」「治水などダム問題の解決」といった税投入の実効面では低くなっている。



◆森林税に賛成層「使途はつきりせず」「下流にも負担を」が上位 反対層では増税に反対

森林税の導入に対する賛否により、要望・疑問にはかなりの違いがみられ、賛成の層で「使途のわかりにくさ」と「下流にも負担を」が上位だが、反対の層では「増税に納得できない」が飛び抜けて高く「本来の県財政の中で取り組むべき」も高めになっている。

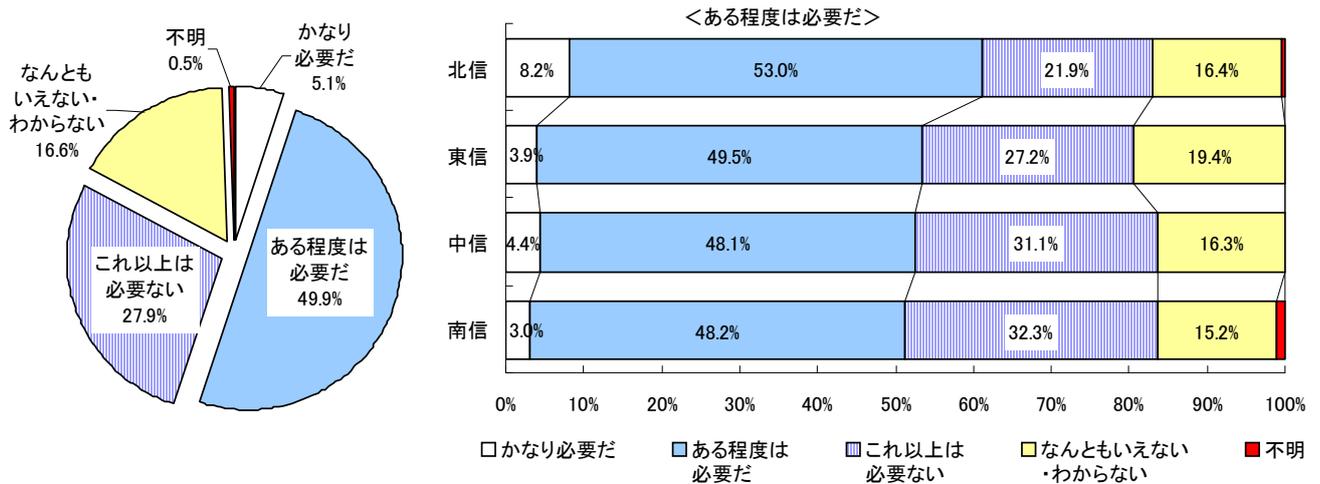


今後のダム建設 「必要」 総体で55% 「これ以上は必要ない」 28%

森林税の論議からんで浮上する今後のダム建設の是非について、総体として「必要だ」が55%と多数を占めたが、大半は「ある程度は必要」に属する。他方で「これ以上は必要ない」は28%にとどまる。

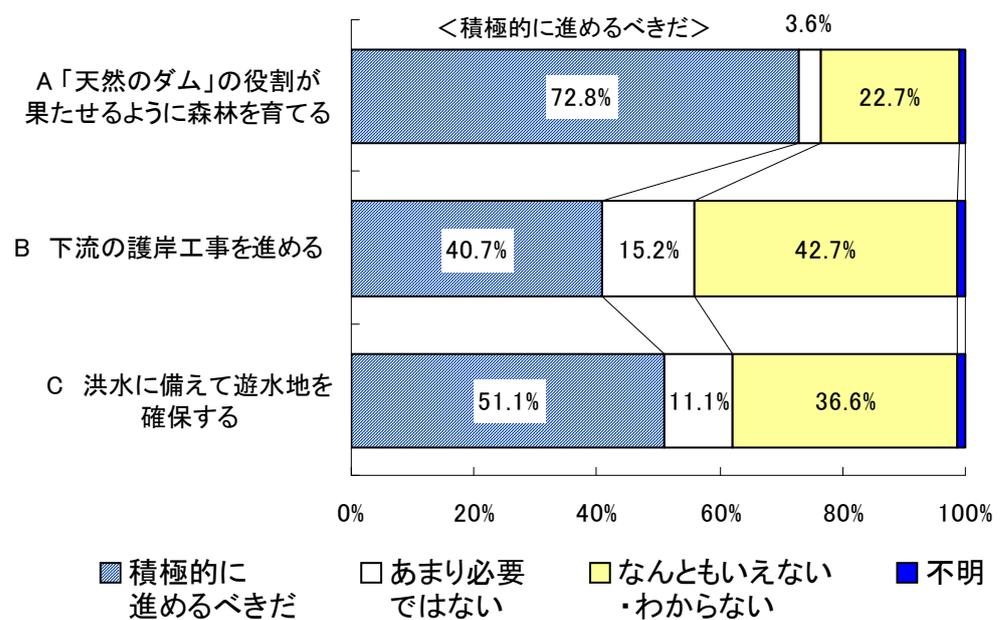
男性で「必要」が総体で約60%と高いが、女性では10ポイント近く下回り「なんともいえない」が20%台にのる。年代層では、60代以上で高くなっている。

北信で「必要」が60%を超えて最も高く、積極的スタンスも増える。農村部でも60%に迫る。



ダムの代わりの対策 森林育成「積極的に」70%突破

ダム建設の代替策として3つ挙げて質した中で「積極的に進めるべきだ」が最も高いのが「天然のダム」の役割が果たせるように森林を育てるで73%。「あまり必要でない」はごく少なく「なんともいえない・わからない」が20%台。



積極的スタンスで男性の方が女性を上回り、年代層では20代で80%を突破し、地域的には南信で80%に迫る。森林税に賛成の層が82%と高いのに対して、反対の層では70%を割り込み、森林育成に対するこだわりの違いがみられる。

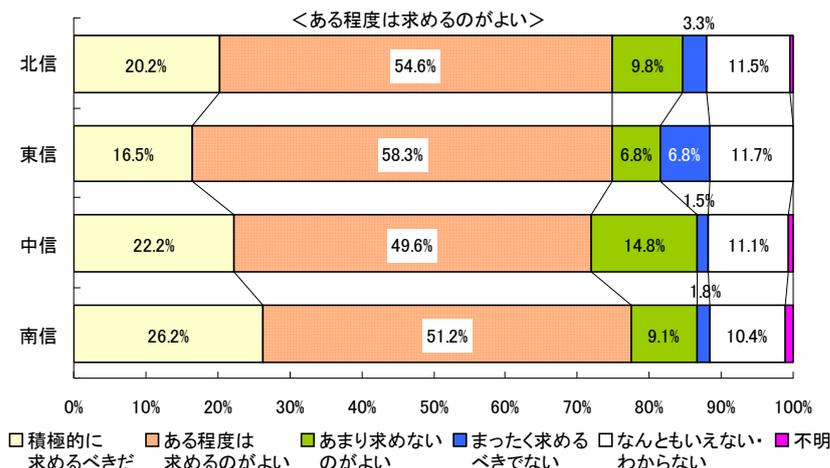
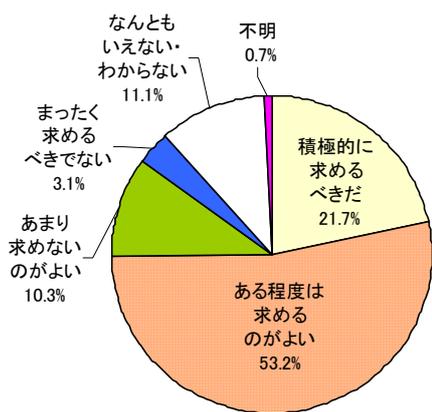
「洪水に備えて遊水地を確保する」には積極的が51%、「下流の護岸工事を進める」は40%余で、いずれも男性が高め。居住年数30年以上の層でも平均値を上回る。総じて「なんともいえない」の割合が高めになっている。

下流域の負担や協力 「積極的に求めるべき」20%超

負担・協力を「求めるべきだ」が総体で75%の高率で「積極的に」だけで20%台にのせ、男性では4人に1人を占める。20代と60代で平均値を上回る。

南信で80%に迫り最も高く、県境を挟んで流域の交流を重ねてきた実績を反映させている。農村部でも比較的高めになっている。

森林税に賛成の層で「求めるべき」が90%を突破する。



Ⅲ 単純集計

問 1 あなたは、ダム建設についてどのようにお考えですか

| | 全体 | 男性 | 女性 |
|-----------|-------|-------|-------|
| かなり必要だ | 5.1% | 5.6% | 4.7% |
| ある程度は必要だ | 49.9% | 53.9% | 46.2% |
| これ以上は必要ない | 27.9% | 29.2% | 26.6% |
| なんともいえない | 16.6% | 10.9% | 21.9% |
| ・わからない | | | |
| 不明 | 0.5% | 0.4% | 0.7% |

問 2 ダム建設の代替りの対策として、次のA～Cの方法についてどのように考えますか

A 「天然のダム」の役割が果たせるように森林を育てる

| | 全体 | 男性 | 女性 |
|------------|-------|-------|-------|
| 積極的に進めるべきだ | 72.8% | 76.1% | 69.8% |
| あまり必要ではない | 3.6% | 6.0% | 1.3% |
| なんともいえない | 22.7% | 17.3% | 27.9% |
| ・わからない | | | |
| 不明 | 0.9% | 0.7% | 1.0% |

問 2-B 下流の護岸工事を進める

| | 全体 | 男性 | 女性 |
|------------|-------|-------|-------|
| 積極的に進めるべきだ | 40.7% | 45.1% | 36.5% |
| あまり必要ではない | 15.2% | 20.4% | 10.3% |
| なんともいえない | 42.7% | 33.1% | 51.8% |
| ・わからない | | | |
| 不明 | 1.4% | 1.4% | 1.3% |

問 2-C 洪水に備えて遊水地を確保する

| | 全体 | 男性 | 女性 |
|------------|-------|-------|-------|
| 積極的に進めるべきだ | 51.1% | 53.9% | 48.5% |
| あまり必要ではない | 11.1% | 15.1% | 7.3% |
| なんともいえない | 36.6% | 30.3% | 42.5% |
| ・わからない | | | |
| 不明 | 1.2% | 0.7% | 1.7% |

問 3 あなたは、森林や水資源を守るために、下流地域の自治体や企業、住民に負担や協力を求めることをどう思いますか

| | 全体 | 男性 | 女性 |
|--------------|-------|-------|-------|
| 積極的に求めるべきだ | 21.7% | 24.6% | 18.9% |
| ある程度は求めるのがよい | 53.2% | 52.8% | 53.5% |
| あまり求めないのがよい | 10.3% | 10.6% | 10.0% |
| まったく求めべきでない | 3.1% | 4.6% | 1.7% |
| なんともいえない | 11.1% | 7.0% | 15.0% |
| ・わからない | | | |
| 不明 | 0.7% | 0.4% | 1.0% |

問 4 あなたは、水資源を守るための県の「森林税」創設についてどのように思いますか

| | 全体 | 男性 | 女性 |
|----------|-------|-------|-------|
| 賛成 | 34.0% | 39.1% | 29.2% |
| 反対 | 25.1% | 28.2% | 22.3% |
| なんともいえない | 40.0% | 31.3% | 48.2% |
| ・わからない | | | |
| 不明 | 0.9% | 1.4% | 0.3% |

問 5 あなたは、森林税の創設について、要望や疑問に思うことがありますか。問 4 のお答えにかかわらず、2 つ以内に絞ってお答えください

| | 全体 | 男性 | 女性 |
|------------------------|-------|-------|-------|
| どんな事業に使われるのか、はっきりしない | 44.8% | 39.1% | 50.2% |
| 増税になること自体が納得できない | 21.7% | 23.2% | 20.3% |
| 森林の恩恵を受ける | 19.3% | 23.9% | 15.0% |
| 下流地域にも負担を求めるべきだ | | | |
| 本来の県財政の中で取りくむべきだ | 19.0% | 21.8% | 16.3% |
| 個人林は所有者が整備するべきだ | 14.0% | 12.7% | 15.3% |
| 森林育成を課税で優先する理由がわからない | 13.8% | 13.4% | 14.3% |
| 森林育成の成果が期待できない | 12.3% | 12.7% | 12.0% |
| 林業振興や担い手育成につながらない | 8.4% | 10.9% | 6.0% |
| 県産材を使う県外業者にも負担を求めるべきだ | 8.0% | 9.5% | 6.6% |
| 治水などダム問題の解決にすぐには結びつかない | 6.5% | 6.3% | 6.6% |
| その他 | 2.4% | 2.5% | 2.3% |
| なんともいえない | 6.8% | 4.2% | 9.3% |
| ・わからない | | | |
| 特になし | 1.7% | 2.1% | 1.3% |
| 不明 | 0.9% | 0.7% | 1.0% |

IV 調査票

ご記入のお願い

- すべての質問に必ず封筒の宛名に書かれたご本人様にご記入ください。
- ご回答は右端の枠の中へ、該当の数字をご記入ください。
- 「その他」に該当する場合は（ ）の中に具体的内容をご記入ください。

問1 あなたは、ダム建設についてどのようにお考えですか。

- ① かなり必要だ
- ② ある程度は必要だ
- ③ これ以上は必要ない
- ④ なんともいえない・わからない

問2 ダム建設の代替りの対策として、次のA～Cの方法についてどのように考えますか。

A 「天然のダム」の役割が果たせるように森林を育てる

- ① 積極的に進めるべきだ
- ② あまり必要ではない
- ③ なんともいえない・わからない

B 下流の護岸工事を進める

- ① 積極的に進めるべきだ
- ② あまり必要ではない
- ③ なんともいえない・わからない

C 洪水に備えて遊水地を確保する

- ① 積極的に進めるべきだ
- ② あまり必要ではない
- ③ なんともいえない・わからない

問3 あなたは、森林や水資源を守るために、下流地域の自治体や企業、住民に負担や協力を求めることをどう思いますか。

- ① 積極的に求めるべきだ
- ② ある程度は求めるのがよい
- ③ あまり求めないのがよい
- ④ まったく求めるべきでない
- ⑤ なんともいえない・わからない

問4 あなたは、水資源を守るための県の「森林税」創設についてどのように思いますか。

- ① 賛成
- ② 反対
- ③ なんともいえない・わからない

問5 あなたは、森林税の創設について、要望や疑問に思うことがありますか。

問4のお答えにかかわらず、2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 森林育成の成果が期待できない
- ② 増税になること自体が納得できない
- ③ どんな事業に使われるのか、はっきりしない
- ④ 林業振興や担い手育成につながらない
- ⑤ 個人林は所有者が整備するべきだ
- ⑥ 森林の恩恵を受ける下流域にも負担を求めるべきだ
- ⑦ 県産材を使う県外業者にも負担を求めるべきだ
- ⑧ 治水などダム問題の解決にすぐには結びつかない
- ⑨ 本来の県財政の中で取りくむべきだ
- ⑩ 森林育成を課税で優先する理由がわからない
- ⑪ その他 ()
- ⑫ なんともいえない・わからない
- ⑬ 特にない

<ご協力ありがとうございました>
これからお聞きする事柄は、結果をまとめる上で必要となります。
お手数ですが、引き続きご回答くださいますようお願い申し上げます。

- F 1 あなたの性別 ① 男性 ② 女性
- F 2 あなたの年代 ② 20代 ⑤ 50代
③ 30代 ⑥ 60代 ※年代に合わせて選択肢の
④ 40代 ⑦ 70歳以上 番号をつけています
- F 3 あなたの職業 ① 事務系・技術系従事者 ⑤ 農・林・漁業
② 現業系・サービス系従事者 ⑥ 専業主婦
③ 役員・管理職・自由業 ⑦ 無職
④ 商工・自営業 ⑧ その他 (具体的に)
- F 4 お住まいの地域 ① 北信 ② 東信 ③ 中信 ④ 南信
- F 5 お住まいの市町村 ① ()市 ② ()町 ③ ()村
()内に市町村名をご記入ください
- F 6 現在お住まいの市町村に何年居住されていますか
① 5年未満 ③ 15年以上～30年未満
② 5年以上～15年未満 ④ 30年以上
- F 7 お住まいの地域性 ① 市街地 ② 近郊住宅地・団地 ③ 農村・中山間地
- F 8 現在の日本の社会の暮らし向きを6つに分けるとすれば、あなたの家庭はどこのあ
たりに入ると思いますか
① 上の上 ② 上の下 ③ 中の上 ④ 中の下 ⑤ 下の上 ⑥ 下の下
- F 9 あなたは現在、結婚されていますか ① 既婚 ② 未婚

<ご協力ありがとうございました>